

# 最近の管内経済概況

(2026年1月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動き。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、有効求人倍率は6か月連続で前年を下回った。
- 企業倒産は、件数は同数、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。  
なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

2026年3月23日

照会先： 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L： 011-709-2311 内線 2525

E-mail： bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2026年3月現在)

発表月	2025年10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月	前月との判断比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している(↘)	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
生産活動	弱含み(↘)	弱含み	弱含み	弱含み	弱含み	弱い動き(↘)	↓
個人消費	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	→
観光	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	→
公共工事	減少した(↘)	増加した(↗)	減少した(↘)	減少した	減少した	増加した(↗)	↗
住宅建設	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	持ち直しの兆しがみられる(↗)	↗
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	→
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	有効求人倍率は6か月連続で前年を下回った	↘
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	↘

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

↗ 上方修正    → 据え置き    ↓ 下方修正

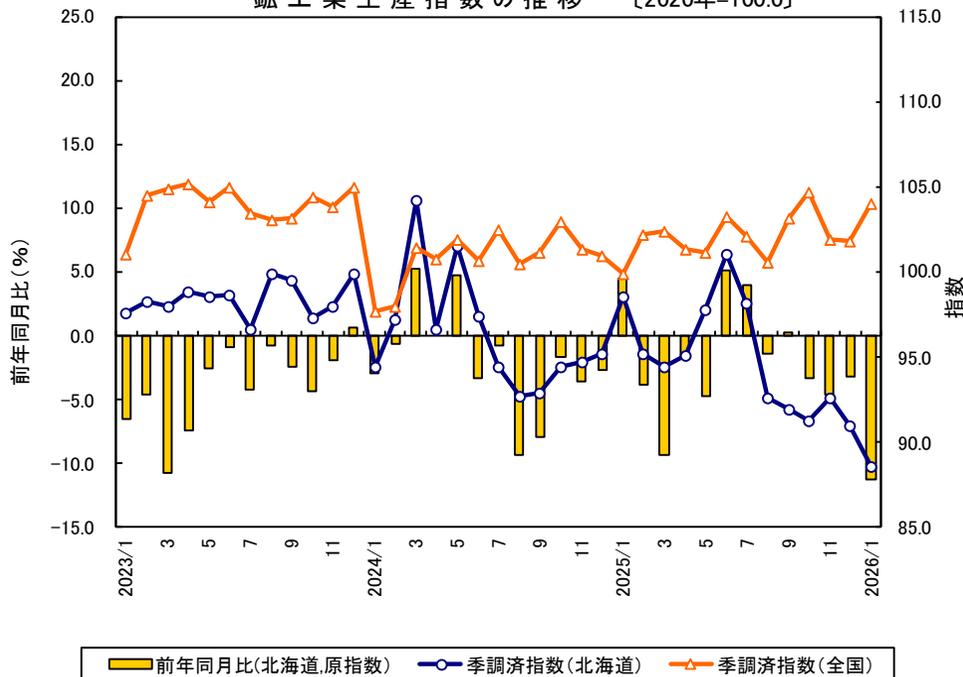
# 生産活動 ～ 弱い動き ～

1月の鉱工業生産は、前月比▲2.6%と2か月連続で低下した。前年同月比は▲11.3%と4か月連続で低下した。低下業種は、一般機械工業など7業種となった。上昇業種は、輸送機械工業など6業種となった。

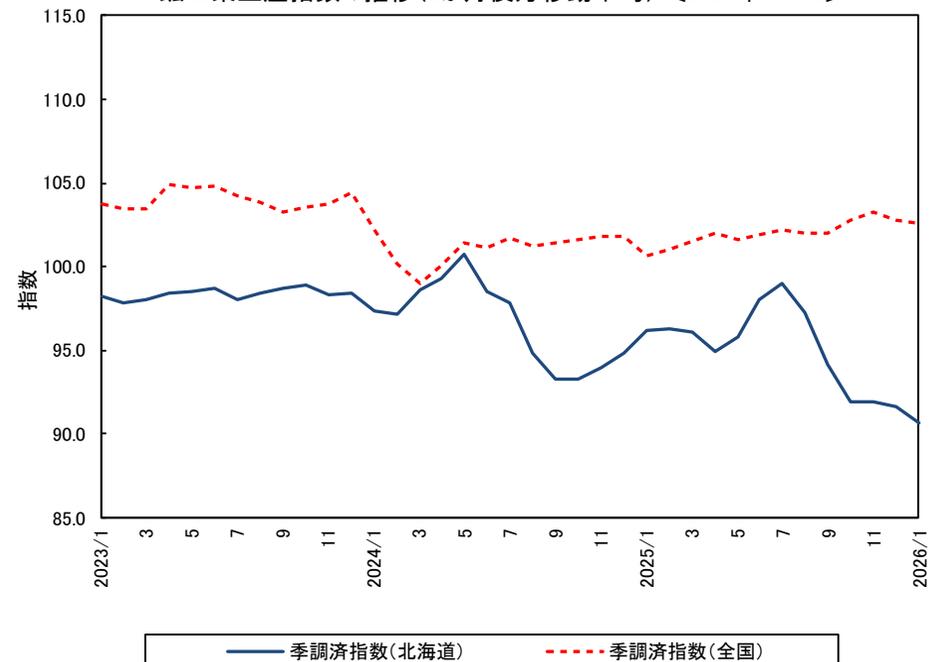
<1月> 季節調整済指数 北海道（速報） 88.6（前月比▲ 2.6%） 全国（速報） 104.0（前月比+ 2.2%）	
---	--

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 7業種	一般機械工業	▲ 24.6	▲ 38.1	一般機械
	金属製品工業	▲ 19.0	▲ 11.6	鉄骨
	化学・石油石炭製品工業	▲ 10.9	▲ 5.9	化学・石油石炭製品
上昇 6業種	輸送機械工業	+ 21.5	▲ 7.6	自動車部品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



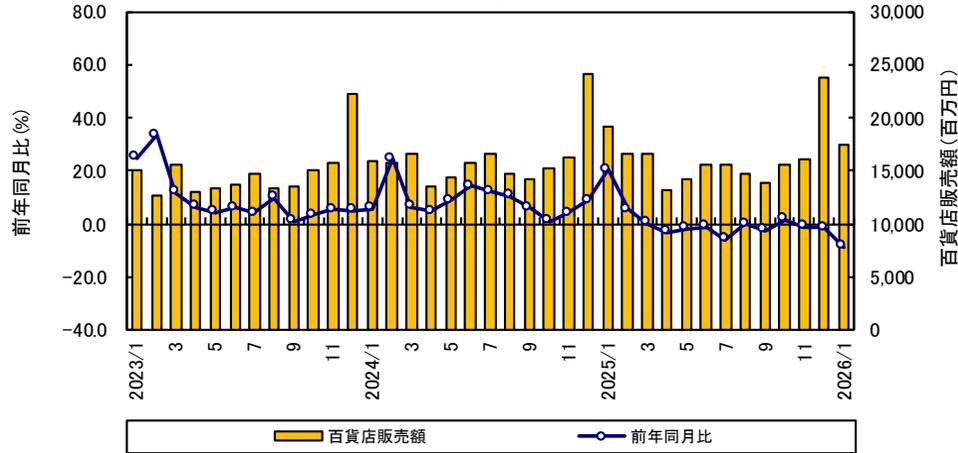
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 一部に足踏みが見られるものの、緩やかに改善している ～

1月の個人消費は、百貨店、新車販売が前年を下回り、他の5業態は前年を上回った。

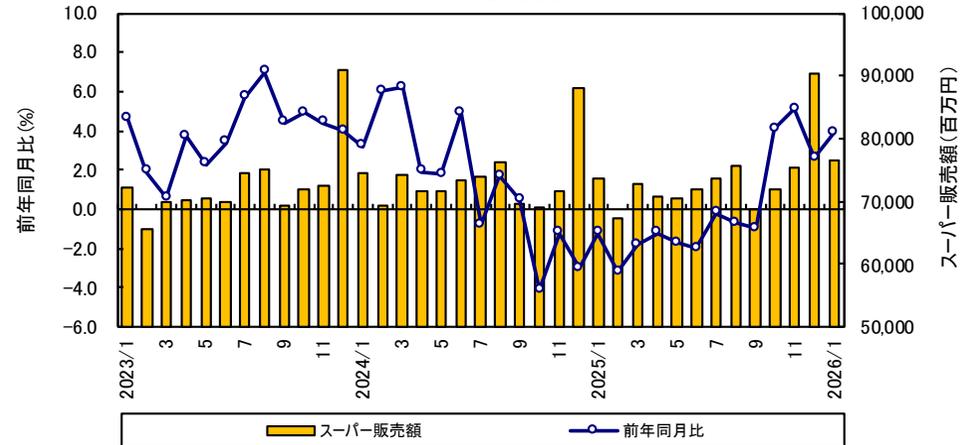
- 百貨店は、高級ブランドの商品の売上げが減少し、前年同月比▲8.6%と3か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、買上点数に回復傾向がみられ、同+3.9%と4か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+3.9%と16か月連続で前年を上回った。

百貨店販売額推移



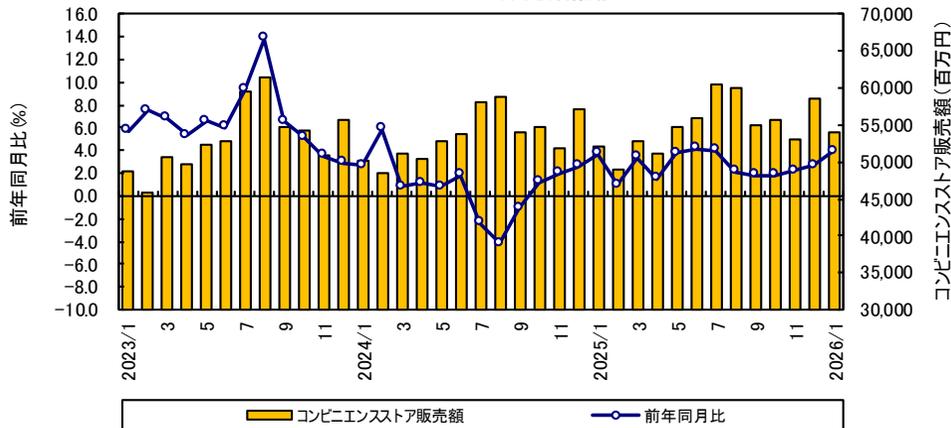
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

スーパー販売額推移



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

コンビニエンスストア販売額推移



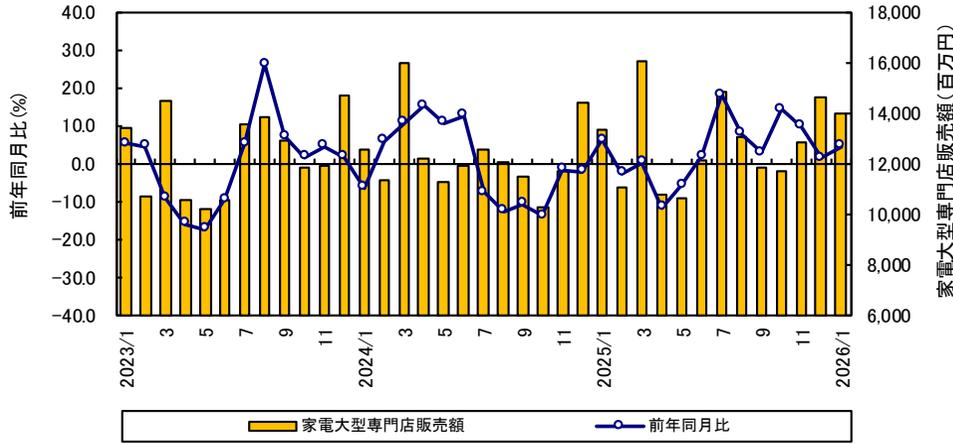
(資料：経済産業省)

## 【ヒアリング内容】

- 下旬の大雪により国内富裕層の来店が減少したほか、円安傾向により売上げが伸長した前年の反動や春節の時期ずれの影響、中国の訪日自粛の影響により高級ブランドの商品の売上げが減少し、全体の売上げが前年を下回った。(百貨店)
- 下旬の大雪により売上げは一時的に減少したものの、買上点数に回復傾向がみられたほか、値上げの影響により全体の売上げは前年を上回った。(スーパー)
- 値上げにより客単価が上昇したほか、下旬の大雪の後には自宅近くの店舗を利用する人が多く全体の売上げが前年を上回った。(コンビニエンスストア)

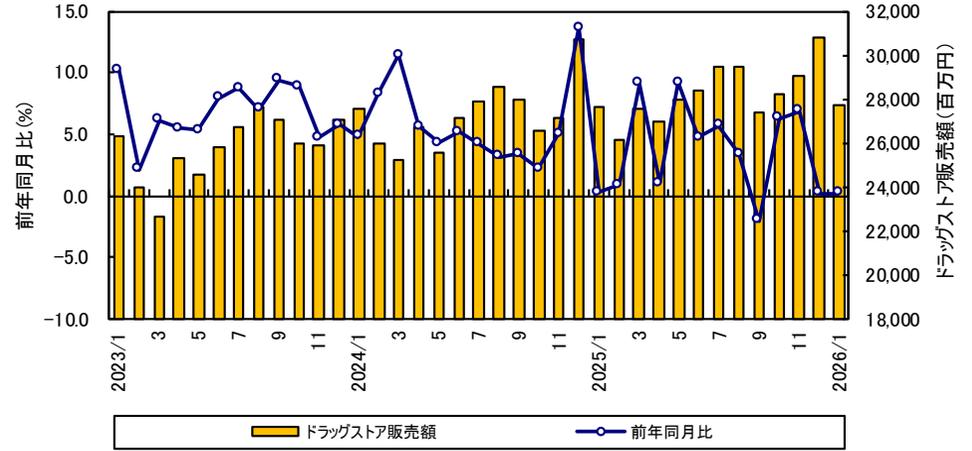
- ・家電大型専門店は、同+4.7%と8か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+0.2%と4か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+5.1%と2か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲7.6%と2か月ぶりに前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



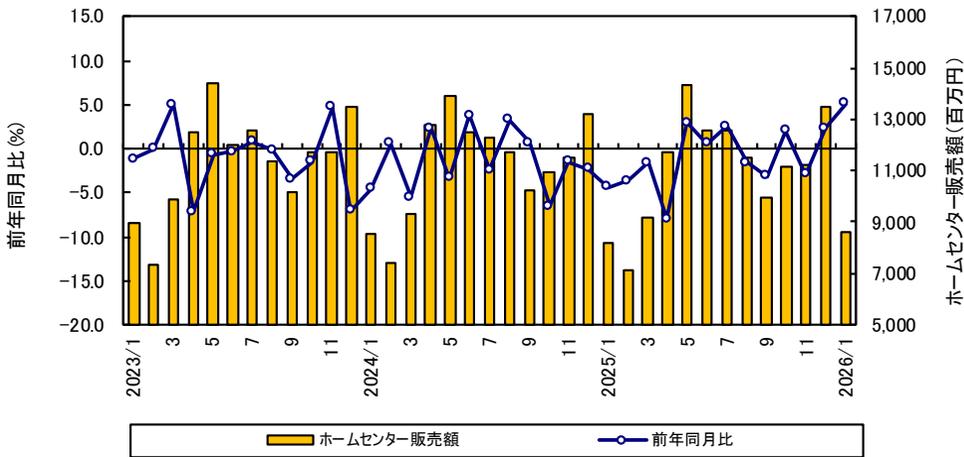
(資料：経済産業省)

ドラッグストア販売額推移



(資料：経済産業省)

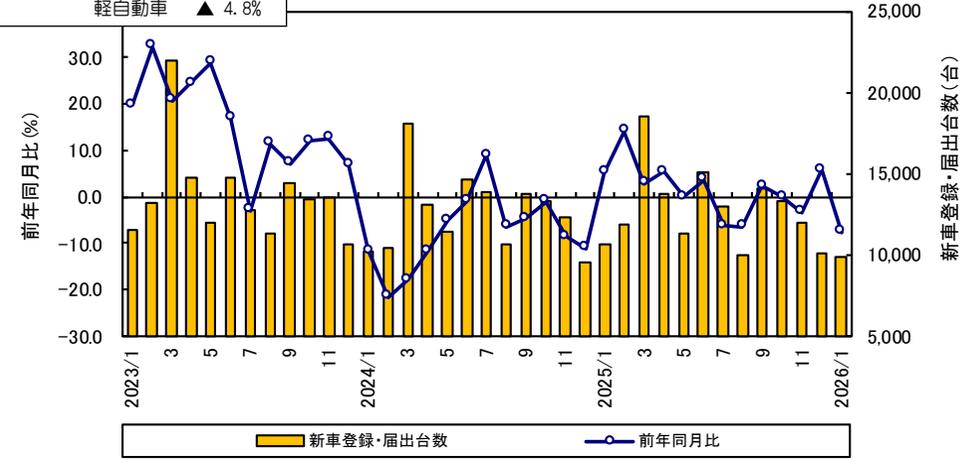
ホームセンター販売額推移



(資料：経済産業省)

- <1月>
- 普通乗用車 ▲13.2%
  - 小型乗用車 ▲1.5%
  - 軽自動車 ▲4.8%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

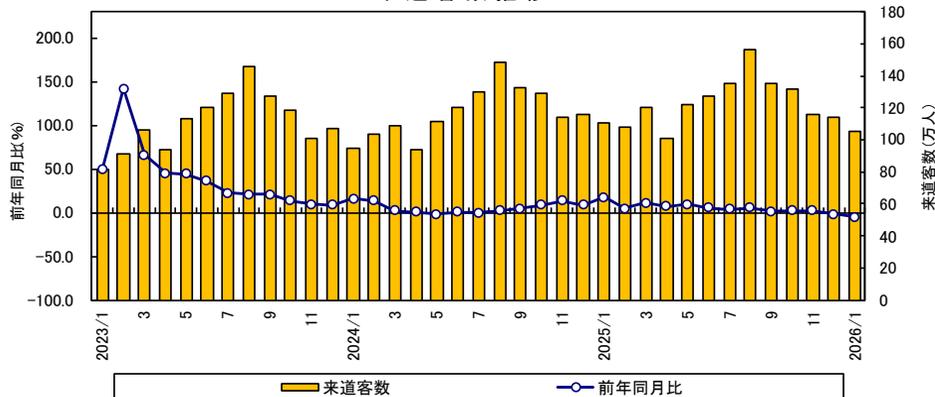
【ヒアリング内容】

- ・既存OSのサポート終了に伴う買い替え需要や、半導体メモリーの不足による価格高騰の懸念から生じた駆け込み需要がありパソコンの売上げが前年を上回った。また、2027年度の家庭用エアコンの省エネ基準の厳格化を見越した買い替え需要がありエアコンの売上げが前年を上回った。(家電大型専門店)
- ・下旬の大雪により一時的に客数が減少したものの、化粧品の売上げは高価格帯の商品も低価格帯の商品も堅調だった。(ドラッグストア)
- ・下旬の大雪により除雪用品の売上げが好調で、売上げと客数が前年を上回った。(ホームセンター)

# 観光 ～改善が続いている～

1月の来道客数は、前年同月比▲4.9%と2か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、同+9.3%と43か月連続で前年を上回った。

来道客数推移

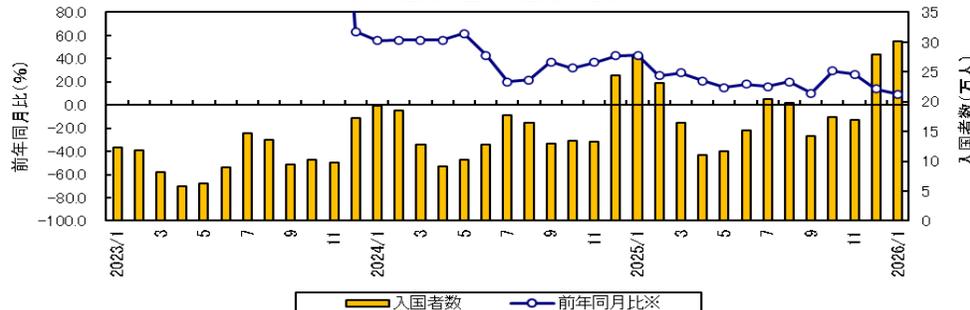


<1月> 来道客数 1,053,263人 (▲4.9%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

<1月> 入国者数 300,838人(+9.3%)

道内外国人入国者数推移



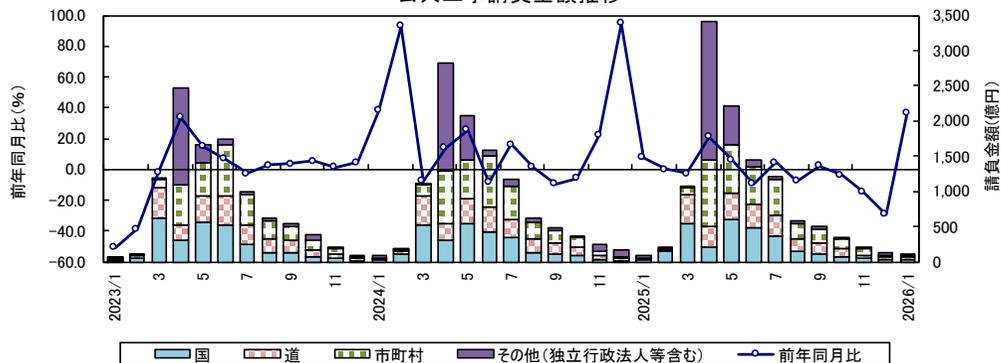
(資料：法務省) ※2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

・国内客は、航空運賃や宿泊代などの高騰により団体ツアー客が減少している。また、1月下旬の大雪によるキャンセルの影響もあった。(観光協会)

# 公共工事 ～増加した～

1月の公共工事請負金額は、その他は前年を下回ったが、国、道、市町村は前年を上回り、前年同月比+36.5%と4か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額推移



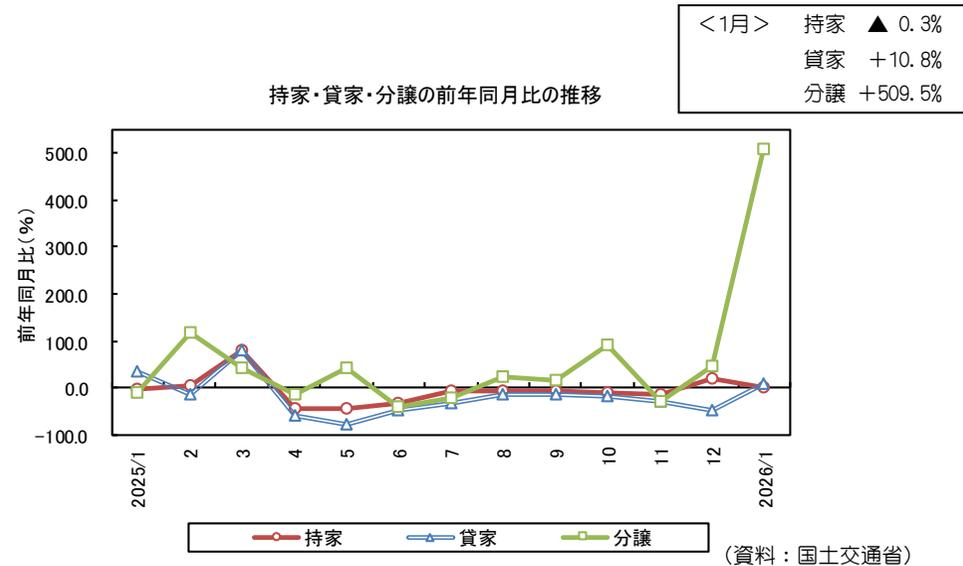
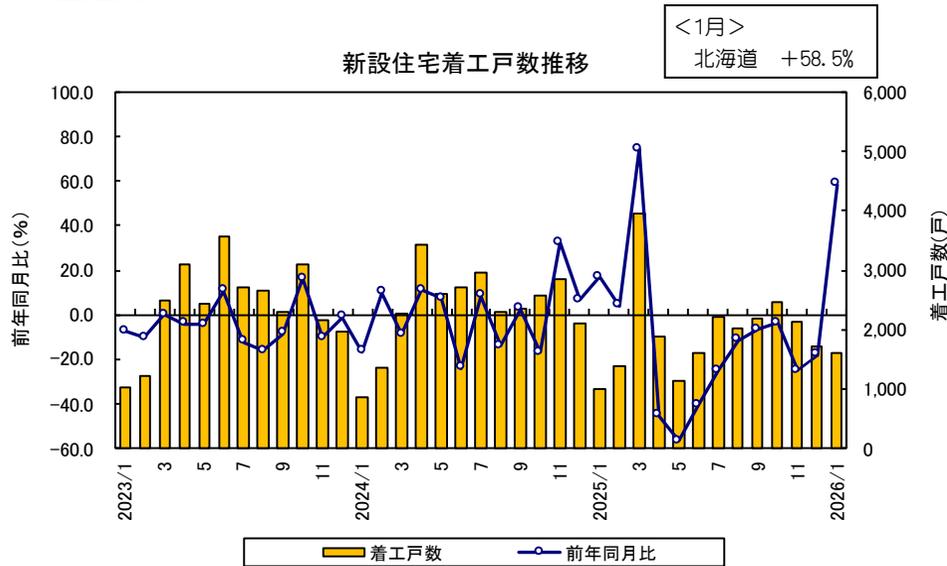
<1月>  
 北海道 +36.5%  
 (内訳)  
 国 +37.8% 道 +189.9% 市町村 +21.1% その他 ▲28.0%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

1月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったが、貸家、分譲は前年を上回り、前年同月比+58.5%と10か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比+11.3%と4年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2026年3月9日発表

	2024年度	2025年度
北海道	+ 6.5%	+ 11.3%
製造業	+ 10.0%	+ 21.5%
非製造業	+ 4.9%	+ 6.4%
全国	+ 7.5%	+ 8.5%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2025年12月11日発表

	2024年度	2025年度
全産業	+ 16.5%	+ 18.2%
製造業	+ 19.6%	+ 18.9%
非製造業	+ 15.2%	+ 17.9%

※数値は対前年比増減率。

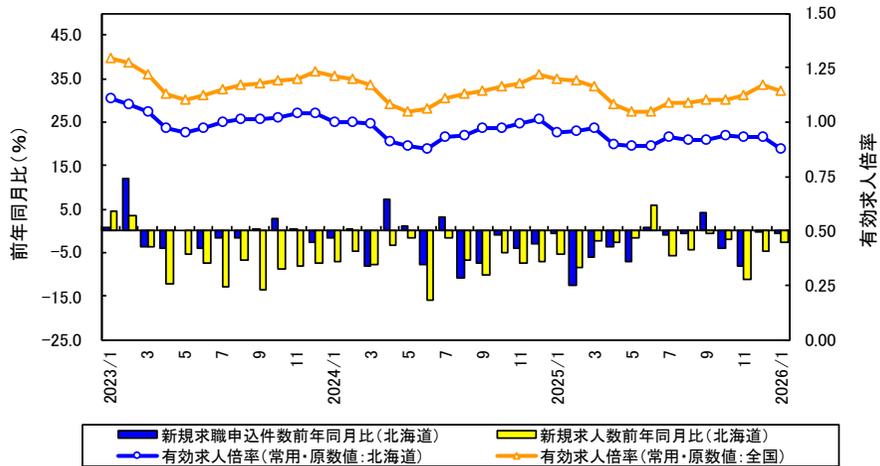
※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 有効求人倍率は6か月連続で前年を下回った～

1月の有効求人倍率は、0.88倍と前年同月差0.07ポイント低下し、6か月連続で前年を下回った。

有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



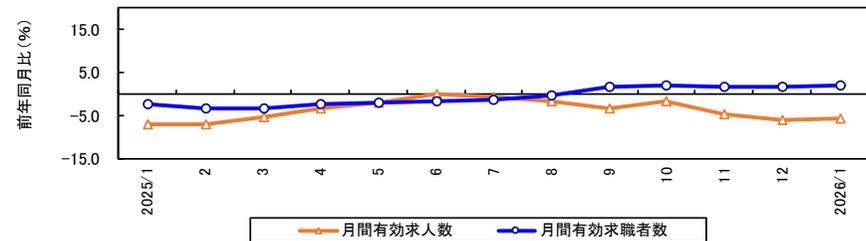
<1月>

北海道 有効求人倍率(常用・原数値) 0.88倍  
新規求人件数(前年同月比) ▲2.6%  
新規求職申込件数(前年同月比) ▲0.6%  
全国 有効求人倍率(常用・原数値) 1.14倍

<1月>

月間有効求人数(前年同月比) ▲5.7%  
月間有効求職者数(前年同月比) +2.0%

月間有効求人数・月間有効求職者数の推移

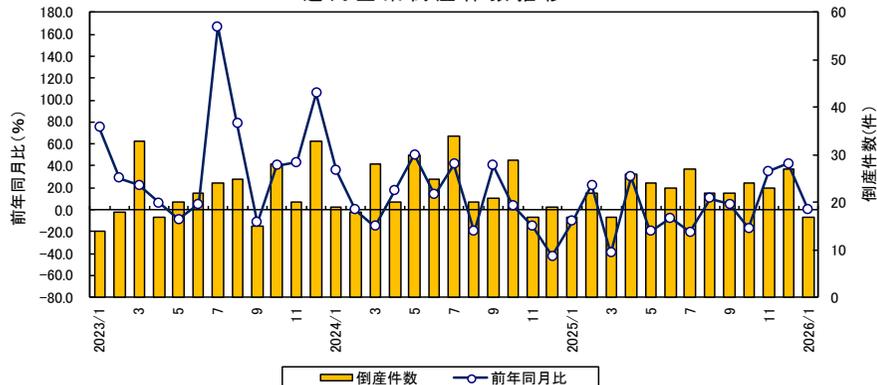


(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

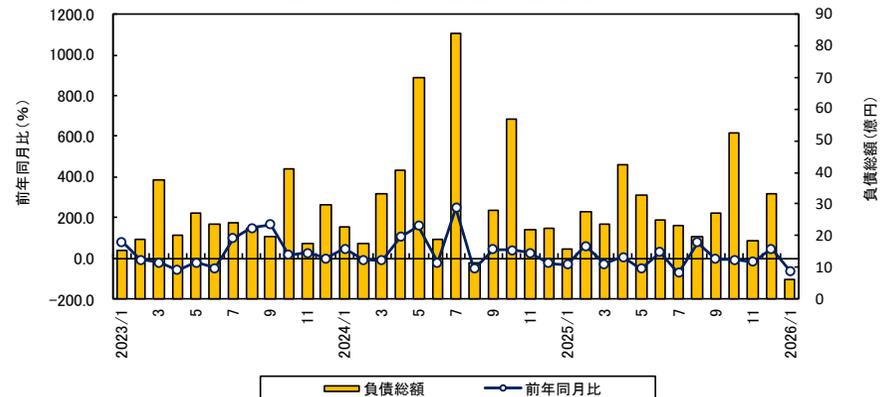
# 企業倒産 ～ 件数は同数、負債総額は減少した～

1月の倒産件数は17件で、前年同月と同数となった。また、負債総額は6.1億円で、同▲61.6%と2か月ぶりに前年を下回った。

道内企業倒産件数推移



道内企業倒産負債総額推移



(資料: (株)東京商工リサーチ)